

平成24年10月28日

担当課	県庁舎建設課
内 線	3161
直 通	894-3161
担当者	村井、大場

長崎県警察本部庁舎建設工事の設計業務プロポーザルの
最優秀提案者の特定等について

このことについて、本日のプロポーザル審査委員会において、下記のとおり最優秀提案者が特定され、併せて次点が選出されましたのでお知らせします。

今後、設計業務の契約締結に係る手続を行い、11月に契約を締結する予定です。

なお、各者の技術提案書、本プロポーザルに関する議事録等については、後日県のホームページで公表する予定です。

記

1. 最優秀提案者及び次点

○最優秀提案者 山下設計・建友社設計・有馬建築設計事務所
特定建設関連業務委託共同企業体
(プレゼンテーション時の1番目、A者)

代表構成員 (株)山下設計(東京都)

その他の構成員 (株)建友社設計(長崎市)

(株)有馬建築設計事務所(長崎市)

最優秀提案者の技術提案書に記載された新警察本部庁舎のイメージ図(パース図)は別添1のとおり。

※あくまでイメージ図であり、実際のデザインとは異なります。

○次点 安井・重野・三建
特定建設関連業務委託共同企業体
(プレゼンテーション時の2番目、B者)

代表構成員 (株)安井建築設計事務所 九州事務所(福岡市)

その他の構成員 (株)重野設計事務所(長崎市)

(株)三建設計総合事務所(長崎市)

2. プロポーザルの審査について

別添2のとおり(審査結果、委員名簿、評価項目・配点、委員長講評)

3. 公開プレゼンテーションの傍聴者数

約100名

4. 参考

今後のスケジュールは別添3のとおりです。



あくまでイメージ図であり、実際のデザインとは異なります。



あくまでイメージ図であり、実際のデザインとは異なります。

長崎県警察本部庁舎建設工事の設計業務
プロポーザル審査結果

(1) プロポーザルの審査方法

プロポーザル審査委員会において、事前に定めた評価基準により、一次審査及び二次審査を実施し、最優秀提案者を特定し併せて次点を選出。

- ・プロポーザル審査委員会名簿(別添2-1)
- ・一次審査(選定基準)及び二次審査(特定基準)の評価項目、配点(別添2-2)

(2) プロポーザルの経過等

①プロポーザル公告(参加者募集):平成24年7月31日

②参加表明書の提出期限:平成24年8月24日

・参加表明書提出者数:2者

③技術提案書提出要請:平成24年9月3日

・技術提案書の提出要請者数:2者

④技術提案書の提出期限:平成24年10月18日

技術提案書提出者数:2者

1. 山下設計・建友社設計・有馬建築設計事務所

特定建設関連業務委託共同企業体(A者、ヒアリング発表順番1番目)

代表構成員: (株)山下設計(東京都)

その他構成員: (株)建友社設計(長崎市)

(株)有馬建築設計事務所(長崎市)

2. 安井・重野・三建

特定建設関連業務委託共同企業体(B者、ヒアリング発表順番2番目)

代表構成員: (株)安井建築設計事務所九州事務所(福岡市)

その他構成員: (株)重野設計事務所(長崎市)

(株)三建設計総合事務所(長崎市)

⑤最優秀提案者の特定:平成24年10月28日

最優秀提案者: 山下設計・建友社設計・有馬建築設計事務所

特定建設関連業務委託共同企業体

次 点: 安井・重野・三建

特定建設関連業務委託共同企業体

(3) プロポーザル審査委員会

① プロポーザル審査委員会（第1回） 平成24年7月14日

審査基準等の決定

② プロポーザル審査委員会（第2回） 平成24年9月2日

提出された参加表明書を審査し、技術提案書の提出者を選定。

③ プロポーザル審査委員会（第3回） 平成24年10月28日

提出された技術提案書を審査し、併せて公開によるヒアリングを実施し、最優秀提案者を特定し、併せて次点を選出。

(4) 審査結果

参加表明書の受付順に A者、B者と表示	A者	B者
一次審査 (満点300点)	250.6	244.9
一次審査 順位	1位	2位
一次審査 結果	選定	選定
二次審査 (満点600点)	512.6	393.9
全体(一次+二次) (満点900点)	763.2	638.8
全体順位	1位	2位
審査結果	最優秀提案者	次点

(5) 委員長講評

別添2-3

長崎県警察本部庁舎建設工事の設計業務
プロポーザル審査委員会名簿

委員会	氏名	所属
委員長	林 一馬	長崎総合科学大学環境・建築学部教授
副委員長	安達 守弘	長崎総合科学大学名誉教授
委員	赤司 泰義	九州大学大学院人間環境学研究院都市・建築学部門教授
委員	小松 幸夫	早稲田大学理工学術院創造理工学部教授
委員	篠原 修	東京大学名誉教授
委員	江頭 靖則	九州管区警察局長崎県情報通信部長
委員	池松 誠二	長崎県総務部長
委員	※ 杉 俊弘	長崎県警察本部警務部長

※平成24年9月10日の人事異動により、荒瀬伸郎 委員に替わり就任しました。

(順不同・敬称略)

長崎県警察本部庁舎建設工事の設計業務 プロポーザル

■一次審査(選定基準):評価項目、配点

評価項目	様式	評価事項	配点	
①事務所の体制、実績	有資格者数、実績件数(基礎的審査)	様式2,4	有資格者数、実績数を評価	50点
	業務実績(専門的審査)	様式6-1,6-2	業務実績の内容を総合的に評価	50点
②担当チームの経験等	管理,主任技術者(基礎的審査)	様式5-1~6	管理、主任技術者の経験年数、同種・類似業務実績数、受賞歴件数等 evaluates	50点
	業務実績(専門的審査)	様式7-1~4	同種業務実績の内容を総合的に評価	50点
③業務の実施方針	業務の実施方針(専門的審査)	様式8	・警察本部庁舎の整備に関する考え方を総合的に評価	60点
			・業務実施のための組織体制、作業スケジュールを総合的に評価	40点
評価点の合計			300点	

■二次審査(特定基準):評価項目、配点

評価項目	様式	評価事項	配点	
特定テーマ (専門的審査)	特定テーマ ①基本構想に掲げる基本理念を実現するための警察本部庁舎の基本的な考え方	様式IV ヒアリング	・提案内容の独創性、独自性や魅力 ・所定の施設計画としての妥当性、現実性、技術的信頼性など (提案者の企画力、技術力、デザイン力を総合的に評価) ※特定テーマ①については、担当予定技術者の人数、手持設計量及び参考見積額も勘案し、総合的に評価	150点
	特定テーマ ②構造、設備計画の考え方 ③防災、治安拠点整備の考え方	様式IV ヒアリング		150点
	特定テーマ ④県民サービスとセキュリティの考え方 ⑤低炭素社会の実現と建築物の長寿命化の考え方	様式IV ヒアリング		150点
	特定テーマ ⑥庁舎デザインの考え方	様式IV ヒアリング		150点
	二次審査合計			600点
一次審査の評価点			300点	
一次審査と二次審査の評価点の合計(プロポーザル評価)			900点	

委員長講評

(審査経過及び結果)

1. プロポーザルの技術提案書提出者 2 者に対し、ヒアリング（20 分のプレゼンテーション及び 25 分の質疑応答）を実施した。
2. 技術提案書の内容及びヒアリングを踏まえ、専門的立場から審査基準に基づき審査を行い、最優秀提案者及び次点を特定し、県に伝えた。
3. 今回のプロポーザルについては、設計者（人）を選んだものであり、設計案を選んだものではない。具体的な設計については、今後基本構想及び基本設計方針を基に、調整を行った上で作業を進める必要がある。

(各者の講評)

- A 者、B 者共通
 - ・ 先行する行政棟、議会棟等の基本設計方針との景観的調和については、十分に配慮された提案であった。
- A 者（最優秀提案者）
 - ・ より具体的で積極的な提案が見られた。
 - ・ 平面計画において、明快な提案であった。
 - ・ 県産材を積極的に使用する提案は評価できる。
 - ・ 通信指令室や交通管制センターの配置等の機能計画については、今後、警察本部との協議を進める中で、検討を行う必要がある。
- B 者（次点）
 - ・ 相談ブースの提案等、県民に開かれた警察本部庁舎としての提案は評価できる。
 - ・ 平面配置及び構造計画等において、検討不足と思われる点が見られた。

今後のスケジュール

本日特定された最優秀提案者と、契約の手續後、平成24年11月に設計業務の委託契約を締結する予定としています。

現在、設計作業中の県庁舎（行政棟・議会棟・駐車場棟）については、平成24年12月末までに基本設計を完了し、平成25年11月末までに、警察本部庁舎及び別途発注予定の駐車場棟の実設計を含め、各棟の設計業務を完了する予定です。

その後、建設工事に着工し、平成28年度中の完成を目指しています。

・設計業務及び建設工事のスケジュール

区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
行政棟・議会棟等の設計		●—————● (約1年8箇月)				
警察本部庁舎の設計			●—————● (約1年)			
建設工事 (発注手続きを含む)				●—————● (約2年6箇月)		